

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	上富良野町発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和7年10月20日		～ 令和7年11月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53名	(回答者数) 52名
○従業者評価実施期間	令和7年11月14日		～ 令和7年11月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・支援内容の提供を幅広く考慮した取り組み。	・利用児童の特性に合わせた個別支援と、状況に応じて適した環境作りを柔軟に取り組めるよう心掛けている。 ・支援に関するプログラムの工夫や取り組み内容を話し合い、発達への働きかけに繋げている。	・職員同士で各利用児童について話し合いの場を設け、より良い支援が行えるようする。
2	・きょうだい支援への関わり。	・利用児童のきょうだい(弟、妹)が同伴した際は、職員が関わり発達状況の確認を行い、気になる事があれば職員同士で情報共有している。	・発達に関する情報を保護者に提供し、個別対応が必要とされる場合は、療育への関わりを支援する。
3	・専門的知識に関する研修会の充実。	・職員から学びたいことや気になる内容のテーマを聞き取り、スキルアップに努め専門的知識を学ぶ研修会開催に繋げている。	・研修会に参加することで得た知識を療育支援に役立てることができるように職員同士で共有する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会や地域に向けた交流、イベント開催が難しい。	・保護者交流会は療育時間に実施、保護者向けの研修でも交流の場を設けているが、参加者限定であった。地域やその他イベントなど開催については機会を持つことに困難さは見られた。	
2			
3			